

## 「拡大し、情報を精選した 学習用地図（日本・世界）作成の取り組み」

筑波大学附属視覚特別支援学校 丹治達義

### はじめに

社会科の学習において、地図は地域を理解するうえで欠かすことはできません。地理ばかりでなく歴史や政治経済の動きなどを学ぶなかで、多面的に社会を理解するための一つの重要な道具となります。私は視覚特別支援学校(盲学校)で、主に中高生に社会科(地理)を指導していますが、視覚に障害のある児童・生徒についてもその重要性は何ら変わりありません。しかし、とくにそのような児童・生徒が地図を用いた学習をする場合、いわゆる「一目見て」瞬時に地図の全体像を把握することは当然難しく、また地図上の多くの情報の中から必要な箇所を検索するには多くの時間が必要ですし、困難を伴います。その結果、児童・生徒が地図学習や地図自体に抵抗感をもつケースが多く見られます。

### 使いやすい地図帳を

#### ●点字使用者のために

これらの課題を解決するために、盲学校の社会科教員を中心に組織された「日本視覚障害社会科教育研究会」(以下「研究会」)が、まずは点字を使用している児童・生徒を対象とし、2008年に『点字版基本地図帳(日本編,世界編)』の開発を行いました。この地図帳は現在も、点字を使用する児童・生徒、また成人の方々にも広く利用されています。

#### ●弱視の児童・生徒のために

その後、「研究会」のプロジェクトとして、弱視の児童・生徒を対象として、2013年度から『拡大文字版地図帳』の開発に向け研究を進めてきました。これまでも弱視の児童・生徒向けの地図帳はいくつか開発されてきましたが、いわゆる「拡大教科書」としての地図帳もあるのですが、全般的に掲載情報の量が多い、線がたどりにくい、色の識別がしにくい、など多く

の課題がありました。そのため、この地図の開発には先述した『点字版基本地図帳』をベースに、掲載する情報量を精選し、またフォントや色使いなどについて当事者との議論を交えながら作成することとしました。この結果、2014年度に日本地図(28枚)が、また2016年度末に世界地図(38枚)がいちおうの完成を見ることができました。この地図は、弱視をはじめとする視覚に障害のある子供たちだけでなく、学習にさまざまな課題を抱える子供たちにも応用できる可能性があると考え、本稿ではその全体像について、ご紹介したいと思います。

### 拡大文字版地図帳

#### ●使いやすさのための工夫

この『拡大文字版地図帳』は、B4判に印刷して利用することを考え、文字サイズは14ポイント、「ヒラギノ丸ゴシック」のフォント表示を原則とし、大きく読み取りやすくしています。また、文字は原則横書きか縦書きとし、視認性に配慮しています。

内容としては、中学校社会科の学習に対応できるようにしていますが、とくに日本地図は小学生が利用することも考慮し、掲載事項を吟味しています。

日本の各地図は、必ず図の左上にタイトル、右上に縮尺が入るようにしました。また図の範囲を明確にするため、図の部分の枠線を囲い、その外側に緯度・経度、ページ番号などを明示しました。どの地図もこれらの情報の位置を固定することで、検索性を高めています。

日本地図では、原則として8地方区分にもとづいて、「県と都市」「自然」「県と都市・自然」を合成した地図の3種類の地図を作成しています(図1)。また、「日本の領域」「南西諸島」など、紙幅の関係で全体的な範囲を取りあげに

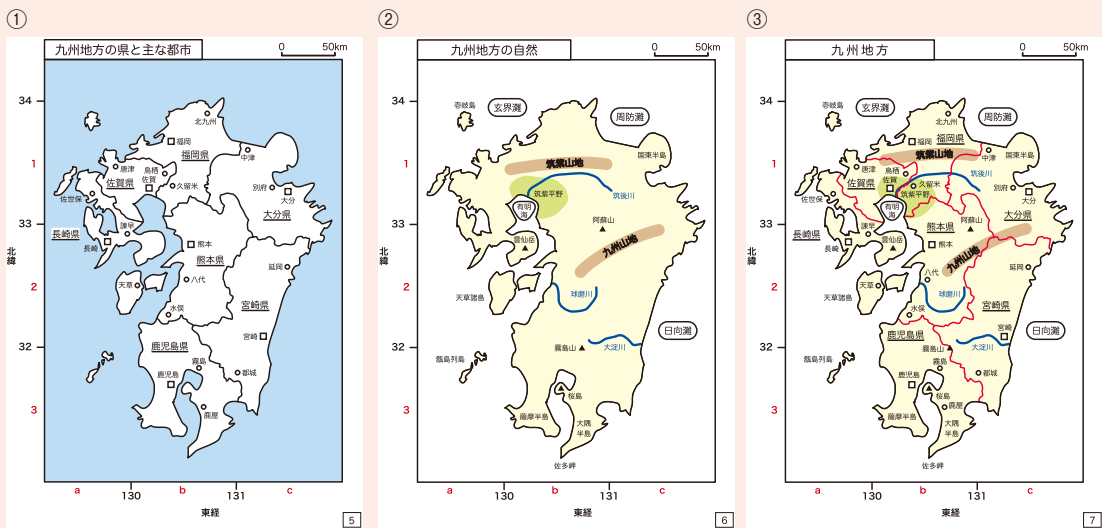


図1 九州地方の例 ①「県と都市」 ②「自然」 ③「県と都市・自然を合成した地図」

くい図も積極的に採用しています。

日本地図の「県と都市」の地図(図1①)は、都道府県ごとに、**県名と都道府県庁所在地を含む人口上位3つの都市にしぼって都市名を記載**しています。それ以外に社会科学習に必要な基本的な都市名については、最小限の範囲で追加しています。

世界地図では、州を基本としそれをさらに細分化した地域ごとに、「国・首都・都市」「自然」

の2種類の地図を作成しています。

「国・首都・都市」(図2)は、国名を必ず記し、首都名(スペースの都合で書けない場合は首都の位置のみ)を示しています。小さな島国など、地図に表しにくい場合も、別図として地域を拡大した地図を作成し、すべての国について一度は地図中に示すようにしています。

「自然」(図1②, 図3)の地図は、日本地図・世界地図ともに重要事項に限定し、また色分けや記号・線の使用についても、**検索性を重視し、情報量を精選**しています。

また詳細については、<参考文献>に詳述していますので、ご参照いただければ幸いです。

### おわりに

現在この地図は、「研究会」を中心に、社会科学をはじめとする教育現場での授業の際の使用に限ってお渡しをしており、またその結果(どのような授業に取り組んだか、児童・生徒はどう使用し、どう感じているか)について整理する予定です。この地図の利用を希望される方は、当研究会までご一報いただければと思います。

日本視覚障害社会科教育研究会

連絡窓口: shikakukenkkyu@teikokushoin.co.jp

<参考文献>

丹治達義(2018)「拡大版基本地図(世界・日本)の開発」:『視覚障害教育ブックレット』Vol.36, ジアース教育新社

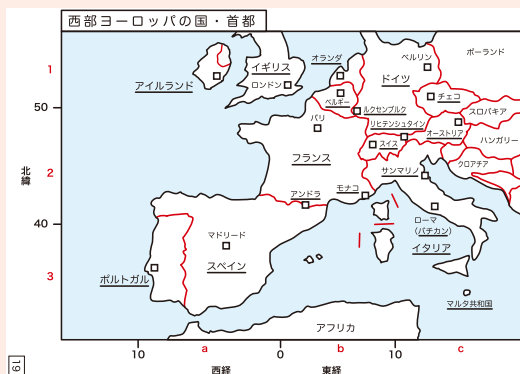


図2 西部ヨーロッパの例「国・首都・都市」

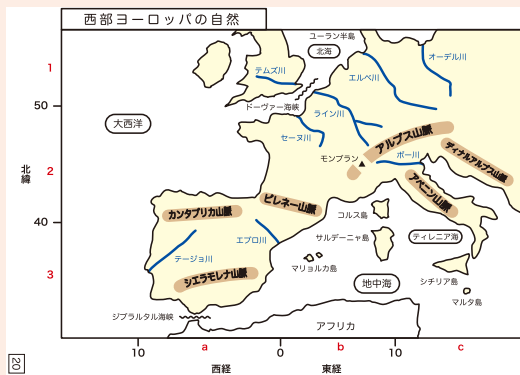


図3 西部ヨーロッパの例「自然」

拡大文字版地図帳の「九州地方」および「西部ヨーロッパ」の地図は、指導者専用サイトにPDFを掲載しています。ぜひご覧ください。詳細は本誌P.2へ。